

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給与引当金・・・定年退職および自己都合退職金の支給に必要な額とします。

(2) 資金の範囲

資金の範囲には現金、普通預金、未収入金、未払金、前受金を含めることとしています。

なお、前期末残高および当期末残高については2. の記載のとおりです。

2. 次期繰越収支差額の内訳は次のとおりです。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
現 金	0			0
普 通 預 金	43,935,962	1,529,276		45,465,238
未 収 入 金	0	303,800		303,800
合 計	43,935,962	1,833,076	0	45,769,038

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
未 払 金	120,233		8,661	111,572
前 受 金	172,400		161,200	11,200
次 期 繰 越 収 支 差 額	42,638,134	1,942,035		44,580,169